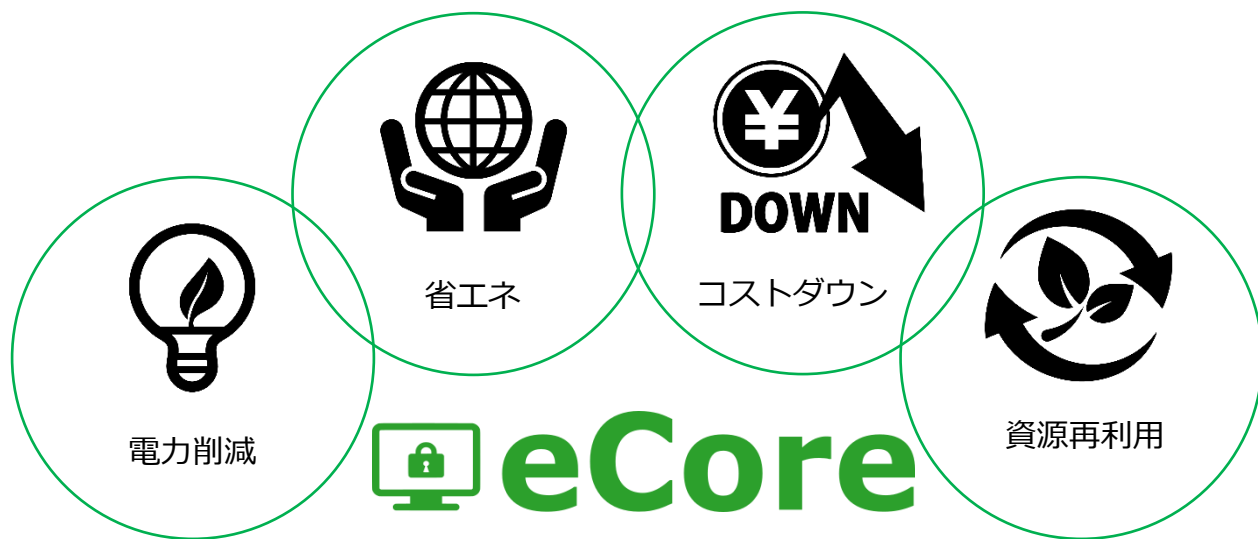




# eCore

## USBブート型 シンクライアント専用OS

eCore（エコア）はUSB型パソコンシンクライアント端末化ツールです。  
OfficeCloud（オフィスクラウド）をご利用のお客様には、イメージデータを無償でご提供します。  
USBメモリ自体はお客様にてご用意ください。



※ご提供は無償ですが、サポートが必要な場合は有償となります。

INfINITY

## 1) eCore 概要

eCore は Puppy Linux をベースにした

「USB ブート型シンククライアント専用端末化ツール」です。

USB ブートができるパソコンであれば利用可能です。

利用用途として、

- ・古い Windows や HDD 故障パソコンの再利用
- ・パソコン故障時の復旧&代替利用

としてご利用ください。

「オフィスクラウドサービス」をご利用のお客様には無償でご提供をいたします。

### 【無償化した理由】

- ・古いパソコンでも再利用したいが、サポートが切れた Windows では心配
- ・故障、起動しなくなったパソコンでも、大切な資産として最大限まで利用したい

このようなお客様の声から、『再利用を行いつつ、コスト面の負担も軽減していただきたい』、その思いから本ツールを無償化させていただくこととしました。

無償ご提供の関係上、直接のサポートを行うことはできかねますので、

本マニュアルをご活用ください。

サポートをご希望のお客様は「有償サポート」をご用意していますので、ご連絡ください。

### 【注意点】

- ・eCore をインストールされる USB メモリは、  
1GB 以上の USB ブートが可能なものをご用意ください。
- ・USB ブートが利用できない機械ではご利用になれません。

## 2) マスター作成方法

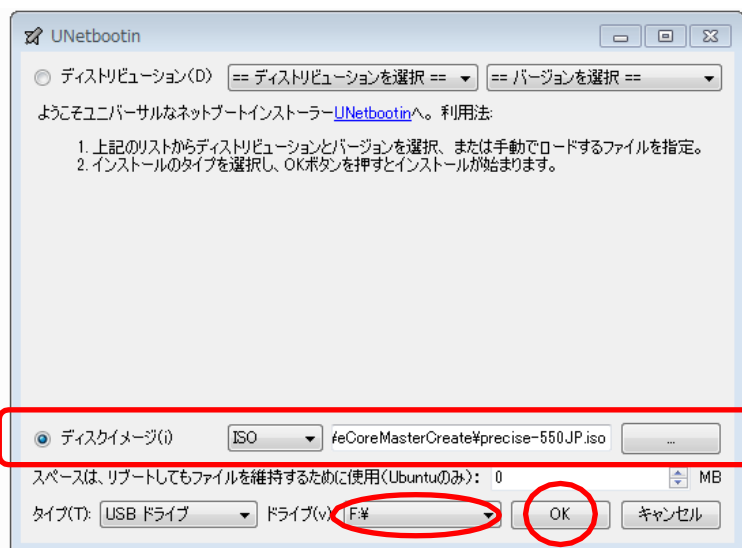
- ① 「[eCore ダウンロードサイト](#)」 にアクセスします。
- ② 「eCore イメージダウンロード」 をクリックします。
- ③ 「eCore\_Master\_Create.zip」 がダウンロードされます。
- ④ ダウンロードされた「eCore\_Master\_Create.zip」 を解凍します。  
※解凍するには解凍ソフトウェアが必要になる場合があります。(例えば lha+)
- ⑤ 解凍すると、フォルダ内には2つのファイルがあります。
  - ・ eCore-USB メモリへ書き込み.exe
  - ・ eCore.iso
- ⑥ eCore として利用するための USB メモリを用意し、パソコンに繋がします。
- ⑦ 「eCore-USB メモリへ書き込み.exe」 をダブルクリックして実行します。

下記のような画面が表示されるので、

- ・ 画面下部の「ディスクイメージ」を選択。
- ・ プルダウンは「ISO」のまま。
- ・ 参照ボタンをクリックし、先ほどダウンロードして解凍した「eCore\_Master\_Create」内の「eCore.iso」を指定。
- ・ タイプは「USB ドライブ」のまま
- ・ ドライブは USB メモリが挿されたドライブを指定。

※ (マイ) コンピュータを開き、USB が認識されているドライブを確認してください。

上記の設定を行ったら、「OK」 ボタンをクリックします。



- ⑧しばらくインストールが行われますので、終わるのを待ちます。
- ⑨インストールが完了すると、「再起動後に試すことができます」のメッセージがでますが、再起動は行わないでください。
- ⑩（マイ）コンピュータを開き、USB メモリの中身を表示します。
- ⑪これで、USB の作成は完了です。
- ⑫作成した USB メモリを eCore を利用するパソコンに挿して起動の確認をします。
  - ※事前に BIOS の設定（初回起動方法参照）を行っておいてください。
  - 正常に作成できていれば、eCore が起動してきます。

### 3) 初回起動方法

初めて起動をする場合は、BIOS から USB 起動を優先するように設定してください。

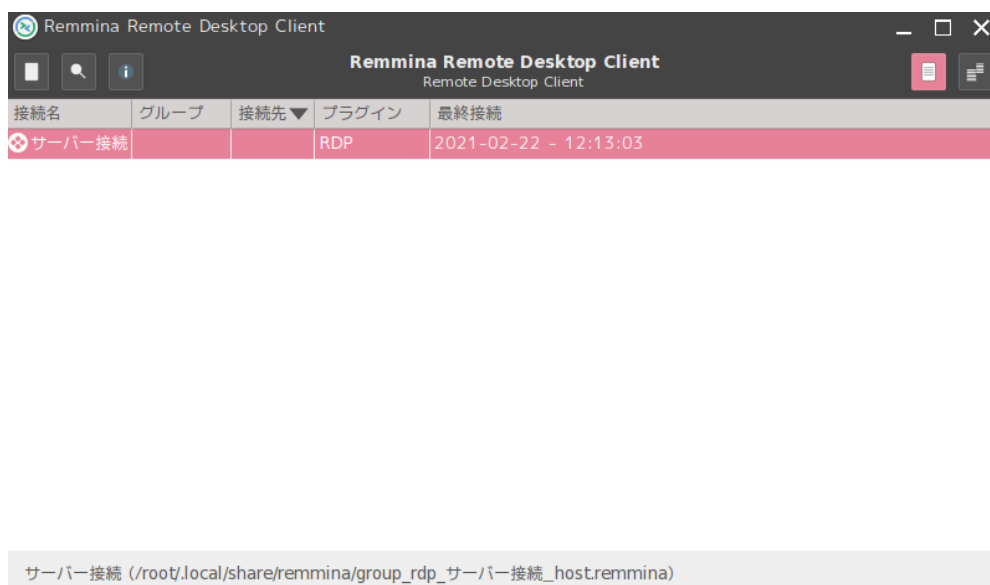
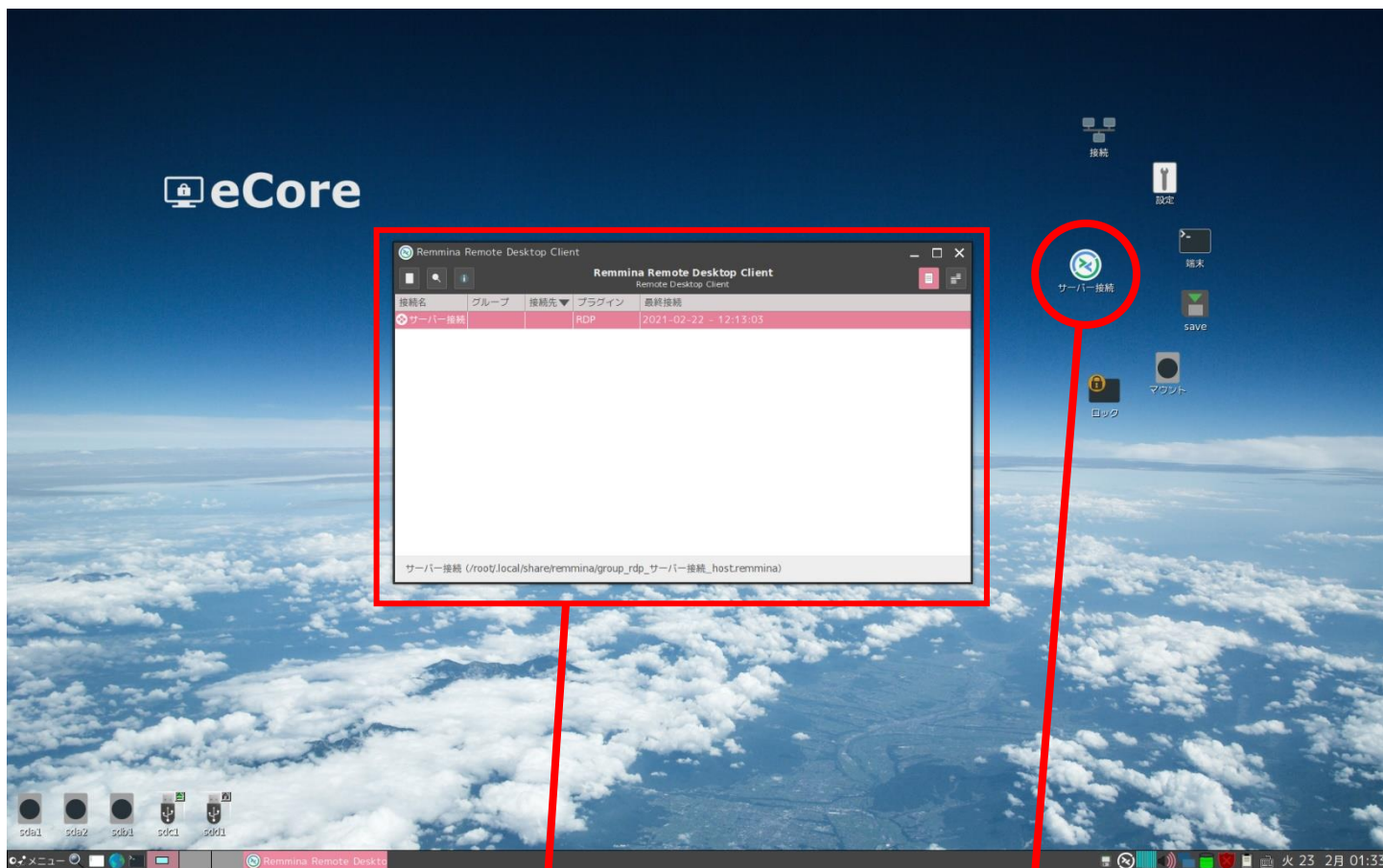
※ベーシックな方法を記載します、メーカーにより操作方法が異なる可能性があります。

※メーカーにより設定画面が異なるため、画像は割愛いたします。

- ①パソコンの電源を入れます。
- ②F2（キーボード上）を押します。※F2 は BIOS 設定画面を起動するボタンです。
  - 数回F2 を押しておく、しばらくすると起動します。
  - BIOS 設定画面に移行せず、Windows が起動してしまった場合は、F2 を押すタイミングが遅いため、再起動をして試してください。
- ③文字のみで構成されたシンプルな BIOS 設定画面が表示されます。
- ④「BOOT」と記載された項目を探し、選択します。
- ⑤「Boot Priority」（起動優先順位）と記載された項目がありますので、最優先項目に「USB-HDD（または USB Flash XX）」を設定します。
  - ※USB-HDD を選択し、+（もしくは↑）で順位を変えることができます。
  - ※おそらく変更する前は、CD-ROM または HDD が選択されています。
- ⑥優先順位の変更が完了したら、キーボードの「ESC」を押します。
  - SAVE And Exit ? のメッセージがでますので、OK（または Y）を選択します。
- ⑦再起動がかかりますので、設定した eCore-USB を挿し、起動するかの確認を行います。
- ⑧起動をすると eCore のデスクトップが表示されます。

#### 4) eCore デスクトップ画面の説明

起動に成功すると、下記のような画面が表示されます。

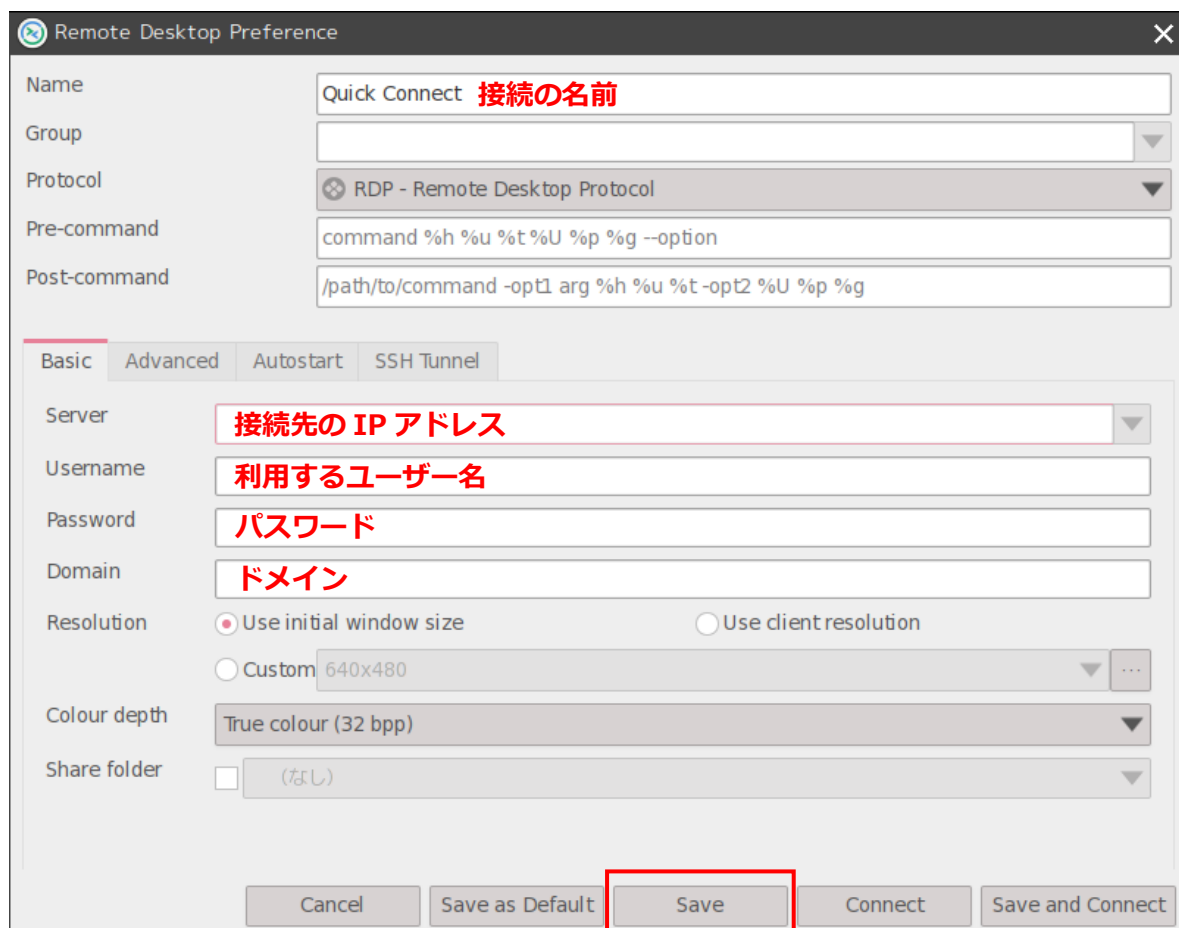
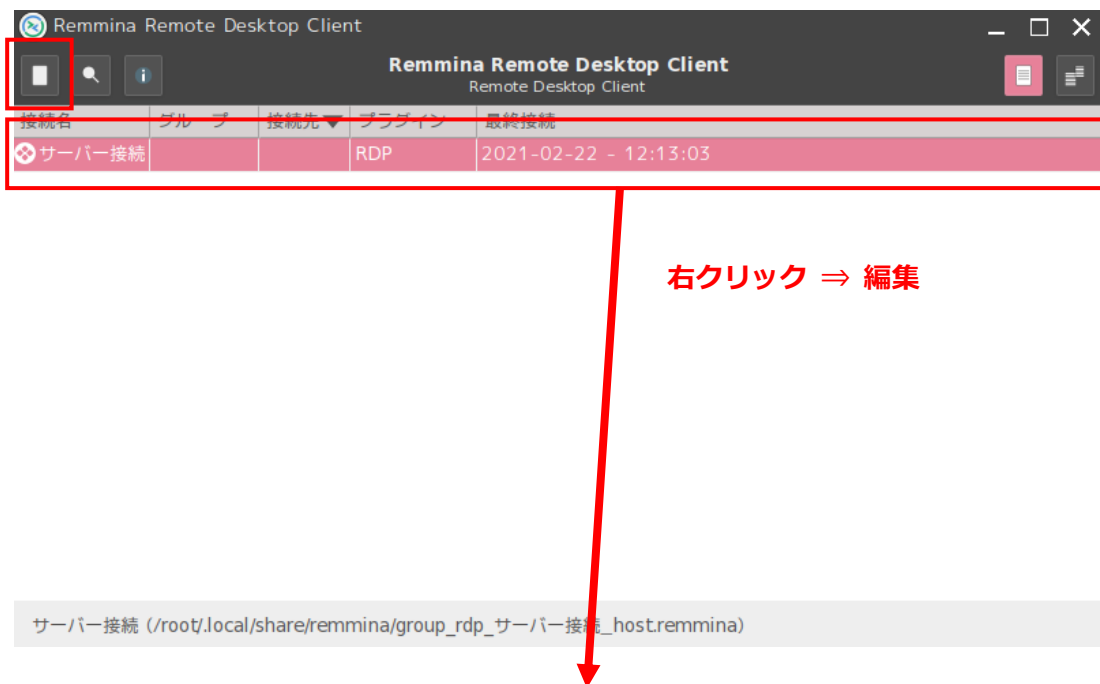


上記画面がサーバーに接続するためのツール「Remmina」です。

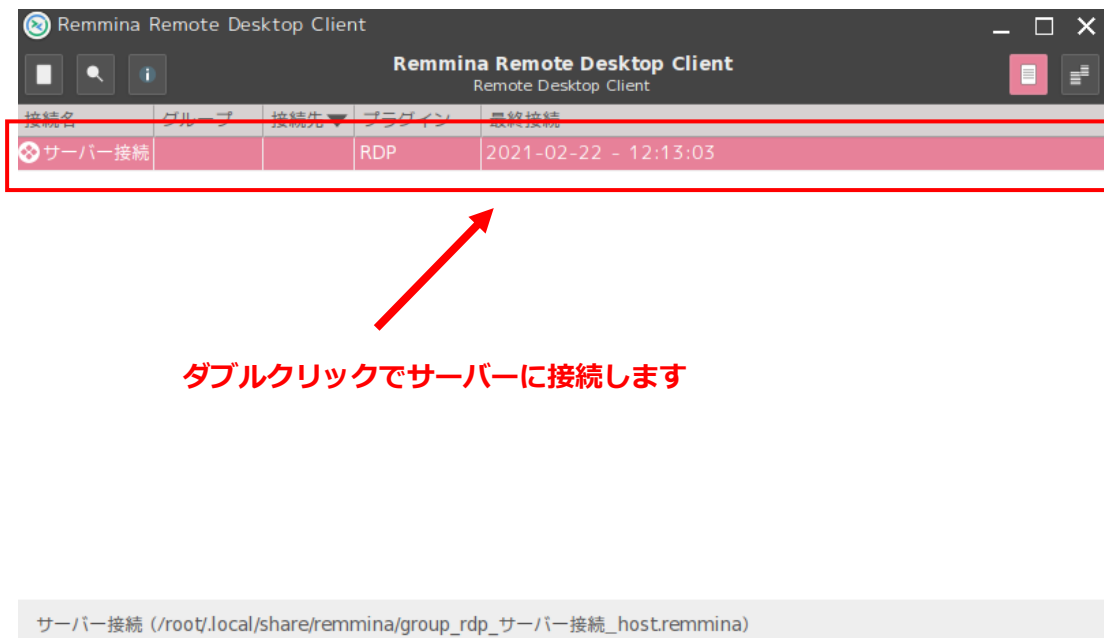
自動起動またはデスクトップ上の「サーバー接続」をクリックすると起動します。

①既に「サーバー接続」という設定があるので、こちらを編集します。

または、左上の白いアイコンをクリックすると、新しい接続設定を作成できます。



保存

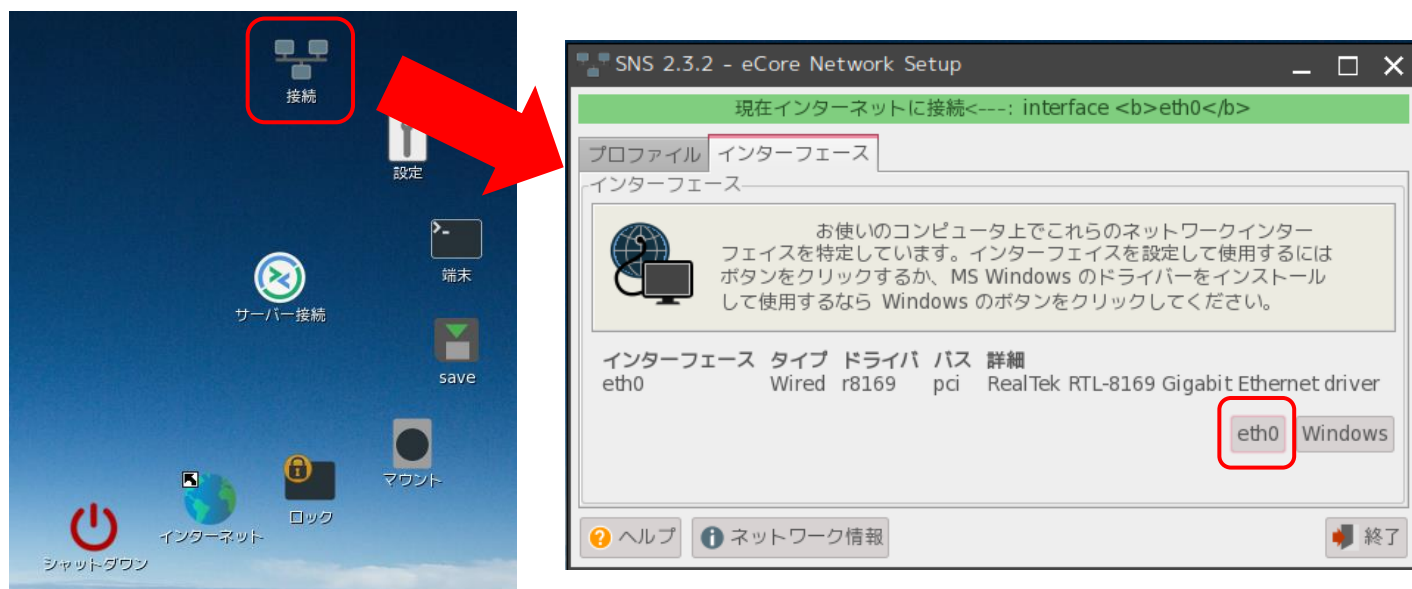


上記で設定が完了です。

## 5) ネットワークの接続方法

デスクトップ上にある、「Network 接続」アイコンをクリックしてください。

「ネットワーク接続」の画面が表示されますので、有線LANなら「eth」、WiFi接続なら「wlan0」を選択し、ネットワーク接続を行ってください。



## 6) 設定の保存

デスクトップ上の「save」アイコンで設定の保存ができます。



## 7) シャットダウン

デスクトップ上のツールバー内の、電源ボタンをクリックしてください。

ログアウトウィンドウ内の、「シャットダウン」をクリックしてください。



以上